

江戸川大にマー君が来た



ファンサービスについて熱く語る田中将大選手。(撮影: 黒田真璃亜 協力: 田中将大)

ファンサービスの必要性を熱弁

1月26日、江戸川大学でスポーツビジネスシンポジウム「プロ野球の使命と役割」が行われた。パネリストとして楽天からヤンキースへの移籍が決まった田中将大選手が出席し、会場に集まった学生を前にパネルディスカッションに加わった。パネリストは元日本プロ野球組織セ・リーグ統括兼運営部長大越英雄さん、スポーツジャーナリスト鷲田康さん、社会学部経営社会学科広岡勲先生、そして田中選手の4人だ。(文: 高山里歩)

江戸川大学に田中選手がくることになった発端は学生からの要望だった。広岡先生が授業中に学生から田中選手の話がききたいと言われた。

野球界に顔の広い広岡先生の尽力で実現することになった。

当日は開始2時間半前から会場入口に長蛇の列ができていた。約500人の学生で会場は満席。ほかのパネリストにつづいて田中選手が入場すると歓声があがり拍手もいっそう大きくなった。

シンポジウムでは野球が愛されてきた理由とファンサービスについて討論がくりひろげられた。

「選手はひとりひとりファンサービスの価値観をもっているが、一番はグラウンド上で最高のパフォーマンスをみせること」と田中選手は語った。

じつは、グラウンド内だけに田中選手のサービスはとどまらない。運営側からのイベントだけでなく、東日本大震災の被災地を訪問し、被災者を励ますなど自分自身からファンサービス

を積極的に行っている。「直接交流することはファンの方々の声が届ける、その声に誠心誠意こたえたい」とファンに対してあくまで誠実だ。

理想の選手は?という学生からの質問に少し考えてから「野球、人柄も含め松井秀喜さんのようになれとまわりから言われてきたし、自分自身もそうおもっている」と真摯に答えてくれた。

学生記者募集!

学生記者クラブは、学内外のイベントや、部活動、サークル活動などを取材します。

記事は「江戸川大学学生新聞」として発行するだけでなく、ウェブにもアップして世界に向けて発信していくプロジェクトです。

「Journalism」とは「発見や感動を相手に伝えること」。あなたもジャーナリストになろう!

N棟1階の受付にお気軽に声をかけてください。連絡先: TEL(04-7152-9908)E-mail(kouhou@edogawa-u.ac.jp) 企画総務課